

授業 科目名	義肢装具学演習 Practice of Prosthetics and Orthotics	履修年次:	単位数:1 単位	担当教員名: 室井大佑(仁戸名研究室 1)[理 学療法士]、土屋淳(仁戸名非 常勤講師室)[義肢装具士]
		必修 3年	コード: RPB306	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅵ 多職種との協働、Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 装具の適応となる疾患、障害が説明できる。 2. 装具の定義、種類、名称について説明ができる。 3. 装具を必要とする対象者の評価、装着、訓練を实践できる。				
〔授業の概要〕				
本授業では、四肢体幹の運動機能障害等に用いられる装具、移動機器等について理解を深めるために、これらを必要とする対象者とその定義、種類、名称などについて学ぶ。また、装具を必要とする対象者を評価し訓練するための基礎的な知識と技術を習得するために、装具の評価方法、訓練方法などについて学ぶ。				
キーワード: 上肢装具、下肢装具、体幹装具、足底板、車椅子				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	6/17 IV	装具概論	装具の分類、定義、装具の機能と役割	室井大佑
第2回	6/24 III	短下肢装具	短下肢装具の種類、適応疾患	室井大佑
第3回	6/24 IV	長下肢装具	長下肢装具の種類、適応疾患	室井大佑
第4回	7/1 III	脊髄損傷者の装具	身体機能評価、歩行評価、歩行介助	室井大佑
第5回	7/1 IV	脳血管障害片麻痺者の装具	身体機能評価、歩行評価、歩行介助	室井大佑
第6回	7/8 III	長・短下肢装具の適合評価	長・短下肢装具の採寸、チェックアウト	土屋淳
第7回	7/8 IV	短下肢装具の採寸の実際	モデル講師の採寸	土屋淳
第8回	7/15 III	短下肢装具の装着訓練	脳血管片麻痺者の装着方法・適合評価	土屋淳
第9回	7/15 IV	短下肢装具の装着訓練の実際	脳血管片麻痺者をモデルに適合評価を学ぶ	土屋淳
第10回	7/22 III	足底板・靴型装具	足底板、靴型装具の種類と適応疾患(RA含む)	土屋淳
第11回	7/22 IV	足底板・靴型装具の装着訓練	装着方法を学ぶ	土屋淳
第12回	7/24 III	体幹・上肢装具	体幹・上肢装具の種類と適応疾患	室井大佑
第13回	7/24 IV	膝・足関節装具	膝・足関節装具の種類と適応疾患	室井大佑
第14回	7/29 III	特殊装具、座位保持装具	小児の特殊装具、座位保持装具	室井大佑
第15回	7/29 IV	車椅子等の評価・適合評価	車椅子の適合方法を学ぶ	室井大佑
履修条件	特になし			
予習・復習	予習は、各回の該当内容を熟読のこと。復習はノートと配布資料の見直しを推奨。			
テキスト	PT・OT ビジュアルテキスト第2版 義肢・装具学 高田治実 他、羊土社			
参考書・参考資料等	義肢装具のチェックポイント第9版 赤井正美 他、医学書院、理学療法テキスト 装具学 中山書店、脳卒中の下肢装具第3版 渡邊英夫 他、医学書院			
学生に対する評価	評価内容は学習態度(15%)、定期試験(85%)により行う。			

授業科目名： 理学療法研究方法論 (Research Methods of Physical Therapy)	必修：3年	1単位：30時間 コード：RPB307	担当教員名：堀本佳誉 (仁戸名研究室10) [理学療法士]
	実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽、Ⅲ 実践に必要な知識			
〔授業の到達目標及びテーマ〕 エビデンスに基づく理学療法を実施するために研究方法を理解し、読んだ論文の内容を説明し、批評できることを目標とします。 ① 理学療法における研究の意義と必要性を説明できる。 ② 研究方法の概略を説明できる。 ③ 学術論文の構成を説明できる。 ④ 学術論文の検索が出来る。 ⑤ 学術論文の読み方を理解し、学術論文を批評できる。			
〔授業の概要〕 理学療法の考察や発展に重要な研究手法について、知識を修得する。 本科目は、研究テーマの設定、対象者の選択方法、データの測定と統計処理、倫理審査申請書の書き方、論文作成、学会発表など一連の研究の流れに関する知識を習得する。また実際に学術論文を読み、批評の方法を学び実際に学術論文批評を行う。			
〔授業計画〕 研究方法・研究論文・文献レビュー・統計学			
回数	テーマ	内 容	
第1回(4/10 Ⅱ)	研究とは 研究論文とは	理学療法における研究の意義と必要性 研究論文の構成	
第2回(4/17 Ⅱ)	研究デザイン	研究デザインとエビデンスレベル	
第3回(4/24 Ⅱ)	研究の進め方	対象の選択	
第4回(5/1 Ⅱ)	研究の進め方	データ測定	
第5回(5/8 Ⅱ)	研究の進め方	統計処理	
第6回(5/15 Ⅱ)	研究の進め方	統計処理	
第7回(5/22 Ⅱ)	研究方法	その他の研究方法	
第8回(5/29 Ⅱ)	学術論文	学術論文の読み方	
第9回(6/5 Ⅱ)	学術論文	学術論文の批評	
第10回(6/12 Ⅱ)	学術論文	学術論文の批評	
第11回(6/19 Ⅱ)	研究倫理	研究倫理と倫理審査申請書の書き方	
第12回(6/26 Ⅱ)	学術論文	学術論文の書き方	
第13回(7/3 Ⅱ)	研究テーマ	リサーチクエスションの立て方	
第14回(7/10 Ⅱ)	学会発表	学会発表とポスター作製	
第15回(7/17 Ⅱ)	まとめ	授業全体を通じたまとめ	
履修条件	特になし		
予習・復習	各講義該当部分の教科書を読んで予習・復習を行うこと。		
テキスト	対馬栄輝 「理学療法研究法」 医歯薬出版 2021年		
参考書・参考資料等	適宜資料を配布する		
学生に対する評価	定期試験 85%、学習態度 15%		

授業 科目名	運動器障害理学療法学 (Physical Therapy for Musculoskeletal Disorders)	履修年次:	単位数:2 単位 30 時間	担当教員名: 江戸優裕 (仁戸名研究室 12) [理学療法士]
		必修:理学3年	コード: RPB207	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 代表的な運動器疾患の病態と、それに関連して生じる機能障害に対する基本的理学療法を理解する。				
〔授業の概要〕 整形外科で学んだ知識を基礎とし、運動器障害の症例に対して理学療法を展開するうえで必要となる基本的な理論を学ぶ授業である。理学療法の対象となることの多い運動器障害を取り上げ、各組織の修復過程を踏まえて対処すべき機能障害の評価と介入について講義と実技を通じて学ぶ。担当教員の理学療法士としての実務経験に基づいてこれらの学習支援を行う。				
キーワード: 骨折、変形性関節症、関節リウマチ、靭帯損傷、半月板損傷、スポーツ傷害				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/14	オリエンテーション 基礎理論	受講にあたっての注意事項と成績評価 運動病理学的モデル、メカニカルストレス、可動性・安定性、運動連鎖など	
第2回	4/21	組織の損傷・修復	骨・関節軟骨・靭帯・筋などの修復過程、PEACE & LOVE	
第3回	4/28	骨折・脱臼	上下肢の骨折や脱臼に対する理学療法	
第4回	5/12	高齢者の骨折	高齢者の4大骨折(大腿骨近位部骨折など)に対する理学療法	
第5回	5/19	変形性関節症	変形性股関節症・変形性膝関節症に対する理学療法	
第6回	5/26	人工関節置換術	人工関節置換術・骨切り術などの手術前後における理学療法	
第7回	6/2	関節リウマチ	関節リウマチに対する理学療法	
第8回	6/9	脊椎疾患	頰椎症・椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症などに対する理学療法	
第9回	6/16	肩関節疾患	肩関節周囲炎・腱板損傷・関節唇損傷などに対する理学療法	
第10回	6/23	膝靭帯・半月板損傷	前十字靭帯損傷・半月板損傷などに対する理学療法	
第11回	6/30	足部疾患	足関節捻挫・アキレス腱損傷などに対する理学療法	
第12回	7/7	末梢神経障害 骨端症	絞扼性末梢神経障害(手根管症候群など)に対する理学療法 骨端症(オスグッド・シュレッター病、シーバー病など)に対する理学療法	
第13回	7/14	スポーツ	スポーツ領域における理学療法の関わり スポーツ傷害(野球肘・シズプリットなど)に対する理学療法	
第14回	7/23 (水)	ウィメンズヘルス 介護予防・産業	ウィメンズヘルス・介護予防・産業分野における運動器障害理学療法(妊産婦の骨盤帯痛・ロコモティブシンドローム・勤労者の腰痛など)	
第15回	7/28	総括		
履修条件	特になし。実技を行うため運動着で出席すること。			
予習・復習	予習は整形外科の内容を再確認およびテキストを確認し、復習は授業資料とテキストを見返すこと。			
テキスト	「運動器障害理学療法学Ⅰ」「運動器障害理学療法学Ⅱ」河村廣幸編(中山書店)			
参考書・参考資料等	運動器理学療法学(医歯薬出版)、運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、運動器障害理学療法学テキスト(南江堂)、運動器疾患の病態と理学療法(医歯薬出版)			
学生に対する評価	筆記試験(80%)・日ごろの学習態度(20%)			

授業 科目名	運動器障害理学療法学演習 (Practice of Musculoskeletal Physical Therapy)	履修年次: 必修:理学3年	単位数: 1単位30時間	担当教員名: 江戸優裕 (仁戸名研究室12) [理学療法士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 代表的な運動器疾患の病態と、それに関連して生じる機能障害に対する理学療法を理解する。そのうえで、基本的な理学療法評価および介入技術を習得する。				
〔授業の概要〕 整形外科学および運動器障害理学療法学で学んだ知識を基礎とし、運動器障害の症例に対して理学療法を展開するうえで必要となる理論と基本的な技術を学ぶ授業である。理学療法の対象となることの多い運動器障害を取り上げ、各組織の修復過程を踏まえて対処すべき機能障害の評価と介入について講義と実技を通じて学ぶ。担当教員の理学療法士としての実務経験に基づいてこれらの学習支援を行う。 キーワード: 骨折、変形性関節症、関節リウマチ、靭帯損傷、半月板損傷、スポーツ傷害				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/7	オリエンテーション	受講にあたっての注意事項と成績評価	
第2回		体幹①	体幹の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第3回	10/21	体幹②	体幹の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第4回		体幹③	体幹の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第5回	10/30	上肢①	肩関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第6回	Ⅲ・Ⅳ		肩関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第7回	11/4	上肢②	肘関節・手部の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第8回		上肢③	肘関節・手部の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第9回	11/11	下肢①	股関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第10回		下肢②	股関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第11回	11/18	下肢③	膝関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第12回		下肢④	膝関節の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第13回	11/25	下肢⑤	足部の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第14回		下肢⑥	足部の運動器障害に対する理学療法の理論と実践 (整形外科的検査・関節機能評価・リスク管理・運動療法・模擬症例など)	
第15回	12/2 Ⅱ	総括		
履修条件		特になし。実技を行うため運動着で出席すること。		
予習・復習		予習は整形外科学および運動器障害理学療法学の内容を再確認し、復習は授業資料とテキストを見返すこと。		
テキスト		「運動器障害理学療法学Ⅰ」「運動器障害理学療法学Ⅱ」河村廣幸編(中山書店)		
参考書・参考資料等		整形外科的徒手検査法(メジカルビュー)、運動器理学療法学(医歯薬出版)、運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、運動器障害理学療法学テキスト(南江堂)、運動器疾患の病態と理学療法(医歯薬出版)		
学生に対する評価		筆記試験(80%)・日ごろの学習態度(20%)		

授業 科目名	神経系障害理学療法学 Neurologic Physical Therapy	履修年次:	単位数: 2 単位	担当教員名: 室井大佑(仁戸名研究室 1)、石 川修平(仁戸名非常勤講師室) [いずれも理学療法士]
		必修 理 3 年	コード: RPB208	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中をはじめとした中枢神経疾患の病態および症状を理解し説明できる。 ・脳卒中をはじめとした中枢神経疾患に対する検査・測定の意義を理解し、適切に選択・実施できる。 ・脳卒中をはじめとした中枢神経疾患に対する理学療法の意義および各症状に対する適切な理学療法を理解し説明できる。 				
〔授業の概要〕				
はじめに、脳血管障害を中心とする中枢神経系疾患の理学療法の理解に必要な脳や脊髄など中枢神経系の構造・機能および病態・症状を学習する。それぞれの中枢神経系疾患に対する検査・測定の進め方について学習する。最後に、発症からの時期別、症状別の理学療法の意義および実践方法を学習する。				
キーワード: 脳血管障害、脊髄損傷、理学療法、評価				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	4/10 III	脳の構造と機能	主要な脳領域の構造・機能、錐体路、血管支配	室井大佑
第2回	4/17 III	脳卒中の病態と症状 1	脳卒中の分類、病理学的変化	室井大佑
第3回	4/24 III	脳卒中の病態と症状 2	運動機能障害、感覚障害	室井大佑
第4回	5/1 III	脳卒中の病態と症状 3	脳損傷とその回復過程	室井大佑
第5回	5/8 III	脳卒中の医学的管理	医学的管理	室井大佑
第6回	5/15 III	脳卒中リハビリの流れ	急性期、回復期、生活期の理学療法士の役割	室井大佑
第7回	5/22 III	片麻痺に対する評価 1	Impairment、急性期の理学療法、ROM ex	室井大佑
第8回	5/27 II	片麻痺に対する評価 2	SIAS、バランス、瘻性評価の実践	室井大佑
第9回	6/17 I	脊髄損傷の理学療法	評価 (ASIA, Zancolli の分類など)、合併症対策	石川修平
第10回	6/17 II	脊髄損傷の理学療法	理学療法	石川修平
第11回	6/19 III	片麻痺に対する評価 3	Activity, Limitation、FIM の実践	室井大佑
第12回	6/26 III	パーキンソン病の理学療法	評価 (Yhar の分類など)、ADL 訓練、合併症対策	室井大佑
第13回	7/3 III	パーキンソン病の理学療法	理学療法	室井大佑
第14回	7/10 III	変性疾患の理学療法	筋萎縮性側索硬化症の理学療法	室井大佑
第15回	7/17 III	変性疾患の理学療法	多系統萎縮症の理学療法	室井大佑
履修条件	動きやすい服装			
予習・復習	予習として、下記テキスト・参考書の該当部分を読んでください。 復習として、講義内容および配布資料を復習・整理し、知識の定着をはかってください。			
テキスト	最新理学療法講座 中枢神経系理学療法学 (医歯薬出版株式会社)			
参考書・参考資料等	標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版 (医学書院)、15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法学 I (中山書店)、15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法学 II (中山書店)			
学生に対する評価	定期試験 (85%)、学習態度 (15%) で総合的に評価する。			

授業 科目名	神経系障害理学療法学演習 (Practice of Neurologic Physical Therapy)	履修年次:	単位数:1 単位	担当教員名: 科目責任者 室井大佑 [仁戸名研究室 1]
		必修 3 年	コード: RPB309	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
中枢神経系障害を代表する脳血管障害片麻痺者に対する基本的な運動療法ができるように、評価、問題点の抽出、治療プログラム選択から地域での理学療法の展開を学ぶものである。				
①急性期病棟の理学療法から理学療法室までの情報収集、評価、問題点の抽出ができる。				
②情報収集や問題点の抽出から、治療プログラムを立案する。また立案までの根拠を説明できる。				
〔授業の概要〕				
理学療法の対象とする脳血管障害やパーキンソン等の中枢神経系、神経・筋疾患を中心とした障害に対して、学生相互の実技実習を含めた体験的な演習を行い、理解を深める。理学療法評価・治療のプロセスと治療手技を急性期、回復期、維持期ごとに学習し、評価を交えながら、中枢神経系障害に対する一連の理学療法の治療の流れを修得する。また、中枢神経系の障害に併発する高次脳機能障害を学び、問題点の抽出から治療に至るまでの過程での影響について学習する。				
キーワード: 脳血管障害、運動療法、高次脳機能、運動失調、歩行				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/6 I	片麻痺に対する運動療法1	課題指向型アプローチ(起居動作)	室井大佑
第2回	10/6 II	片麻痺に対する運動療法2	座位、立位	室井大佑
第3回	10/20 I	片麻痺に対する運動療法3	ステップ、歩行	室井大佑
第4回	10/20 II	片麻痺に対する運動療法・実習	運動療法の実践(歩行介助等)	室井大佑
第5回	10/27 I	小脳障害の病態・ICF	運動失調、ICF	室井大佑
第6回	10/27 II	小脳障害の症例検討	小脳疾患の評価とプログラム立案	室井大佑
第7回	11/10 I	頭部外傷、脳腫瘍の病態	頭部外傷、脳腫瘍、脳炎	室井大佑
第8回	11/10 II	運動機能に影響する高次機能評価	基盤的認知機能、注意機能、遂行機能障害	室井大佑
第9回	11/17 I	運動機能に影響する高次機能評価	半側空間無視	室井大佑
第10回	11/17 II	運動機能に影響する高次機能評価	Pusher 症候群への理学療法介入	室井大佑
第11回	12/1 I	運動機能に影響する高次機能評価	失語、失行	室井大佑
第12回	12/1 II	脳卒中の合併症	嚥下障害、栄養障害	室井大佑
第13回	12/8 I	脳卒中ガイドライン	脳卒中治療/理学療法ガイドライン	室井大佑
第14回	12/8 II	脳卒中の上肢へのアプローチ	上肢機能	室井大佑
第15回	12/15 II	脳卒中の予後予測	機能予後、ADL 予後	室井大佑
履修条件	神経系障害の理学療法評価学と理学療法学を履修済ませておいてください。			
予習・復習	シラバスに沿って授業を展開します。講義内容を予め事前学習して臨んでください。			
テキスト	特になし			
参考書・参考資料等	最新理学療法講座 中枢神経系理学療法学(医歯薬出版株式会社)、標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学(医学書院)、15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法学 I・II(中山書店)			
学生に対する評価	定期試験(85%)、学習態度(15%)を勘案して評価します。			

授業科目名	理学療法学特論 I (運動器・老年期) (Advanced Lectures in Physical Therapy I :Musculoskeletal and Geriatric Disorders)	履修年次: 選択:理学3年	単位数: 1単位 30時間 コード: RPB317	担当教員名: 科目責任者 江戸優裕 (仁戸名研究室 12)
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 代表的な運動器疾患に対するテーピングや動作改善のためのインソールの理論と技術を習得する。また、介護予防事業やスポーツと理学療法士の関わりを理解する。そして、老年期特有の運動器障害や神経障害に対する理学療法と動作介助やリスク管理の理論と技術を習得する。				
〔授業の概要〕 運動器障害理学療法学および同演習、ならびに老年期障害理学療法学および同演習で学んだ知識を基礎とし、理学療法士としての実践力を高める授業である。前半は代表的な運動器疾患に対するテーピングや動作改善のためのインソール、そして介護予防事業やスポーツと理学療法士の関わりについて学ぶ。後半は老年期特有の運動器障害や神経障害に対する理学療法と動作介助やリスク管理について学ぶ。担当教員の理学療法士としての実務経験に基づいてこれらの学習支援を行う。 キーワード: テーピング、インソール、介護予防、スポーツ、老年症候群、動作介助、リスク管理				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/6	テーピング①	野球肘・ジャンパー膝・前十字靭帯損傷に対するテーピング	江戸優裕
第2回		テーピング②	肉離れ・足関節内反捻挫に対するテーピング	
第3回	10/20	インソール	歩行を中心とした動作改善のためのインソール	江戸優裕
第4回				
第5回	10/27	介護予防・障害者スポーツ	高齢者に対する介護予防企画の立案と実施 障害者スポーツと理学療法士の関わり	江戸優裕
第6回				
第7回	11/10	スポーツ理学療法	スポーツ現場における理学療法士の役割 栄養、心理的な関わり	磯田一将
第8回				
第9回	11/17	就労・余暇活動	脊髄損傷者の生活と就労・余暇活動の実際	牧原伸之
第10回				
第11回	12/1	神経・運動器障害	老年期における神経・運動器障害理学療法の実践と実技練習	室井大佑
第12回				
第13回	12/8	リスク管理	老年期におけるリスク管理の実際	室井大佑
第14回				
第15回	12/15 III			
履修条件	特になし。実技を行うため運動着で出席すること。			
予習・復習	予習は運動器障害理学療法学および同演習、ならびに老年期障害理学療法学および同演習の内容を再確認し、復習は授業資料を見返すこと。			
テキスト	なし。			
参考書・参考資料等	授業内で適宜紹介する。			
学生に対する評価	課題 (80%)・日ごろの学習態度 (20%)			

授業 科目名	理学療法学特論Ⅱ (神経・内部・地域) Clinical Issue of Physical Therapy	履修年次: 選択 理3年	単位数:1 単位 コード:RPB318	担当教員名:室井大佑[理学療法士] (仁戸名研究室1)、 稲垣武、坂崎純太郎[理学療法士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識,Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 中枢神経系疾患の神経筋再生への知見、血液ガス分析などの評価や内部障害の理学療法、在宅リハビリテーションを含む地域理学療法学、それぞれのトピックスについて講義と演習を交えながら学びます。 ① 神経難病など中枢神経系障害の理学療法の介入方法を学びます。 ② 呼吸・循環の評価、内部障害の理学療法の介入方法を学びます。 ③ 在宅リハビリテーションを含む地域理学療法の介入方法を学びます。				
〔授業の概要〕 理学療法対象の脳血管障害除く、多系統萎縮症による運動失調症など神経難病に対する神経科学や治療法のトピックスを講義します。呼吸器系の詳細な評価や臨床検査、内部障害の管理・理学療法について講義します。在宅での理学療法を理解します。本授業は、神経系障害理学療法は室井、内部障害理学療法は稲垣、地域理学療法は坂崎が行います。				
キーワード:				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/2 III	筋萎縮性側索硬化症	疾病の進行に応じた理学療法プログラム	室井大佑
第2回	10/2 IV	多発性硬化症の理学療法	病態と介入方法	室井大佑
第3回	10/9 III	多系統萎縮症の理学療法	多系統萎縮症による運動失調への理学療法	室井大佑
第4回	10/9 IV	在宅高齢者の理学療法トピック	高齢者に対する理学療法理論と展開	坂崎純太郎
第5回	10/9 V	在宅高齢者の理学療法評価	高齢者に対する理学療法評価	坂崎純太郎
第6回	10/16 III	在宅高齢者の認知と運動機能 1	高齢者の認知・遂行・注意機能と理学療法	坂崎純太郎
第7回	10/16 IV	在宅高齢者の認知と運動機能 2	高齢者の運動機能と理学療法	坂崎純太郎
第8回	10/23 III	呼吸器系の評価	血液ガスの解釈・換気障害の評価	稲垣武
第9回	10/23 IV	呼吸器障害患者の安定期管理	呼吸器障害患者の管理	稲垣武
第10回	11/4 III	臨床検査の読み方	内部障害理学療法に必要な採血データ	稲垣武
第11回	11/4 IV	内部障害の理学療法 補足	褥瘡のケア・ポジショニング	稲垣武
第12回	11/13 III	呼吸・循環の評価	バイタルサイン	稲垣武
第13回	11/13 IV	内部障害の理学療法 補足	間質性肺疾患の呼吸理学療法	稲垣武
第14回	11/20 III	内部障害の理学療法 補足	整形・神経疾患の呼吸理学療法	稲垣武
第15回	11/20 IV	内部障害の理学療法 補足	熱傷の理学療法	稲垣武
履修条件	授業で実技を交える場合には、事前に体操服に着替えるようにお知らせします。また空きコマを利用して日程を早め、授業負担が内容に工夫します。			
予習・復習	事前に講義内容と日程を確認して臨んで下さい。			
テキスト	各講師が資料を提供します。			
参考書・参考資料等	特になし			
学生に対する評価	定期試験(80%)、学習態度(20%)で評価します。			

授業 科目名	理学療法学特論Ⅱ (神経・内部・地域) Clinical Issue of Physical Therapy	履修年次: 選択 理3年	単位数:1 単位 コード:RPB318	担当教員名:室井大佑[理学療法士] (仁戸名研究室1)、 稲垣武、坂崎純太郎[理学療法士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識,Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 中枢神経系疾患の神経筋再生への知見、血液ガス分析などの評価や内部障害の理学療法、在宅リハビリテーションを含む地域理学療法学、それぞれのトピックスについて講義と演習を交えながら学びます。 ① 神経難病など中枢神経系障害の理学療法の介入方法を学びます。 ② 呼吸・循環の評価、内部障害の理学療法の介入方法を学びます。 ③ 在宅リハビリテーションを含む地域理学療法の介入方法を学びます。				
〔授業の概要〕 理学療法対象の脳血管障害除く、多系統萎縮症による運動失調症など神経難病に対する神経科学や治療法のトピックスを講義します。呼吸器系の詳細な評価や臨床検査、内部障害の管理・理学療法について講義します。在宅での理学療法を理解します。本授業は、神経系障害理学療法は室井、内部障害理学療法は稲垣、地域理学療法は坂崎が行います。				
キーワード:				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/2 Ⅲ	筋萎縮性側索硬化症	疾病の進行に応じた理学療法プログラム	室井大佑
第2回	10/2 Ⅳ	多発性硬化症の理学療法	病態と介入方法	室井大佑
第3回	10/9 Ⅲ	多系統萎縮症の理学療法	多系統萎縮症による運動失調への理学療法	室井大佑
第4回	10/9 Ⅳ	在宅高齢者の理学療法トピック	高齢者に対する理学療法理論と展開	坂崎純太郎
第5回	10/9 Ⅴ	在宅高齢者の理学療法評価	高齢者に対する理学療法評価	坂崎純太郎
第6回	10/16 Ⅲ	在宅高齢者の認知と運動機能 1	高齢者の認知・遂行・注意機能と理学療法	坂崎純太郎
第7回	10/16 Ⅳ	在宅高齢者の認知と運動機能 2	高齢者の運動機能と理学療法	坂崎純太郎
第8回	10/23 Ⅲ	呼吸器系の評価	血液ガスの解釈・換気障害の評価	稲垣武
第9回	10/23 Ⅳ	呼吸器障害患者の安定期管理	呼吸器障害患者の管理	稲垣武
第10回	11/4 Ⅲ	臨床検査の読み方	内部障害理学療法に必要な採血データ	稲垣武
第11回	11/4 Ⅳ	内部障害の理学療法 補足	褥瘡のケア・ポジショニング	稲垣武
第12回	11/13 Ⅲ	呼吸・循環の評価	バイタルサイン	稲垣武
第13回	11/13 Ⅳ	内部障害の理学療法 補足	間質性肺疾患の呼吸理学療法	稲垣武
第14回	11/20 Ⅲ	内部障害の理学療法 補足	整形・神経疾患の呼吸理学療法	稲垣武
第15回	11/20 Ⅳ	内部障害の理学療法 補足	熱傷の理学療法	稲垣武
履修条件	授業で実技を交える場合には、事前に体操服に着替えるようにお知らせします。また空きコマを利用して日程を早め、授業負担が内容に工夫します。			
予習・復習	事前に講義内容と日程を確認して臨んで下さい。			
テキスト	各講師が資料を提供します。			
参考書・参考資料等	特になし			
学生に対する評価	定期試験(80%)、学習態度(20%)で評価します。			

授業 科目名	内部障害理学療法学 (Cardiopulmonary physical therapy)	履修年次: 理3年(必修)	単位数: 2単位30時間	担当教員名: 稲垣武[理学療法士] (東校舎1)
		実務経験のある教員による授業科目		
		コード: RPB209		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅵ 多職種との協働、Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<p>① 代表的な呼吸・循環・代謝・腎疾患の病態と、それぞれに対する基本的な理学療法を理解できる。</p> <p>② それぞれの疾患に対する理学療法の特徴を理解し、説明できる。</p> <p>③ 内部障害に対する理学療法上のリスク管理について理解できる。</p>				
〔授業の概要〕				
<p>内部障害(呼吸機能障害、循環機能障害、代謝障害、腎機能障害)の定義や特徴、それぞれに対する基本的な理学療法、リスク管理について、講義を通じて学ぶ。また、病態や病期・重症度による介入の違いについて学習する。なお、本授業は内部障害理学療法の実務経験を有する理学療法士が臨床経験を踏まえて授業を行う。</p>				
キーワード: 内部障害、理学療法、呼吸器疾患、循環器疾患、代謝・腎疾患				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	4/9 III	内部障害理学療法学概論	内部障害の定義、特徴、疫学など	
第2回	4/16 III	運動生理	運動時における呼吸・循環・代謝の反応	
第3回	4/23 III	呼吸障害の理学療法1	COPDの病態、COPDのリハビリテーション	
第4回	4/30 III	呼吸障害の理学療法2	癌の周術期リハビリテーション	
第5回	5/7 III	呼吸障害の理学療法3	ICUでのリハビリテーション	
第6回	5/14 III	呼吸障害の理学療法4	高齢者肺炎のリハビリテーション	
第7回	5/21 III	循環障害の理学療法1	循環器理学療法の概要	
第8回	5/28 III	循環障害の理学療法2	虚血性心疾患の理学療法	
第9回	6/4 III	循環障害の理学療法3	心疾患急性期の理学療法(心不全)	
第10回	6/11 III	循環障害の理学療法4	心疾患急性期の理学療法(心大血管疾患・心臓手術)	
第11回	6/18 III	循環障害の理学療法5	末梢動脈疾患の理学療法	
第12回	6/25 III	糖尿病の理学療法1	糖尿病の病態と治療	
第13回	7/2 III	糖尿病の理学療法2	糖尿病の理学療法の実際	
第14回	7/9 III	腎臓病の理学療法1	腎臓の解剖・生理、代表的疾患	
第15回	7/16 III	腎臓病の理学療法2	保存期慢性腎不全・人工透析患者の理学療法	
履修条件	特になし			
予習・復習	各講義該当部分の教科書を読んで予習・復習を行うこと。			
テキスト	最新理学療法学講座 内部障害理学療法学 医歯薬出版 2021年			
参考書・参考資料等	適宜資料を配布する			
学生に対する評価	定期試験(90%)と学習態度(10%)により、総合的に評価する。			

授業 科目名	内部障害理学療法学演習 (Intervention by Cardiopulmonary Physical Therapy)	履修年次: 理3年(必修)	単位数: 1単位30時間 コード: RPB310	担当教員名: 稲垣武 [理学療法士] (東校舎1)
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<p>① 内部障害の理学療法評価について理解し、説明できる。</p> <p>② 呼吸理学療法手技の定義、適応、禁忌を理解し、実施できる。</p> <p>③ 気管吸引や呼吸療法について理解できる。</p> <p>④ 循環器理学療法に必要な評価(心電図・心肺運動負荷試験)について理解できる。</p>				
〔授業の概要〕				
呼吸・循環障害を有する患者に対する理学療法についての知識を習得し、評価・治療手技の実技を通じてそれぞれの特徴や技術、リスク管理を学ぶ。なお、本授業は内部障害理学療法の実務経験を有する理学療法士が臨床経験を踏まえて授業を行う。				
キーワード: 内部障害、評価法、胸部理学所見、呼吸療法、気管吸引、理学療法手技				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/7 Ⅲ	呼吸理学療法に必要な評価	評価の総論・医療面接	
第2回	10/7 Ⅳ	呼吸理学療法に必要な評価	評価項目列挙の実践	
第3回	10/21 Ⅲ	フィジカルアセスメント	視診・触診・打診	
第4回	10/21 Ⅳ	フィジカルアセスメント	視診・触診・打診	
第5回	10/28 Ⅰ	フィジカルアセスメント	聴診 ※千葉大学病院で行います	
第6回	10/28 Ⅱ	呼吸理学療法手技	コンディショニング	
第7回	10/28 Ⅲ	呼吸理学療法手技	機械的排痰補助装置・離床の実践	
第8回	11/6 Ⅲ	気管吸引	気管吸引の基礎 ※装具室で行います	
第9回	11/6 Ⅳ	気管吸引	口腔/鼻腔/気管吸引の実技	
第10回	11/11 Ⅲ	呼吸療法の理解	酸素療法	
第11回	11/11 Ⅳ	呼吸療法の理解	人工呼吸器	
第12回	11/18 Ⅲ	心電図判読	不整脈の病態	
第13回	11/18 Ⅳ	心電図判読	心電図の理解、不整脈の判別	
第14回	11/25 Ⅲ	心肺運動負荷試験	心肺運動負荷試験の基礎	
第15回	11/25 Ⅳ	心肺運動負荷試験	運動処方の実践	
履修条件	特になし			
予習・復習	内部障害理学療法学の復習をしておくこと。			
テキスト	15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 中山書店 2022年			
参考書・参考資料等	適宜資料を配布する			
学生に対する評価	定期試験(90%)と学習態度(10%)により、総合的に評価する。			